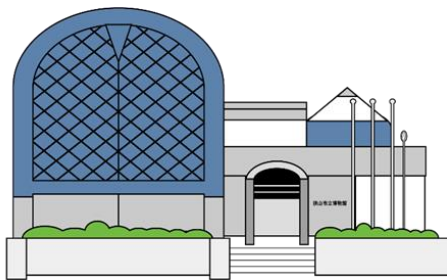


博物館で働く人 学芸員とは?



学芸員は、歴史博物館・郷土博物館・自然博物館・資料館・美術館・動物園・水族館・植物園などの各種博物館で勤務する専門職で、キュレーターとも呼ばれています。基本的には考古学、歴史学、地理学、生物学、鉱物学、美術、郷土史学など、自分が知識を身につけた分野を専門とした職業です。狭山市立博物館でも数名の学芸員が専門的な知識や経験を活かして働いています。

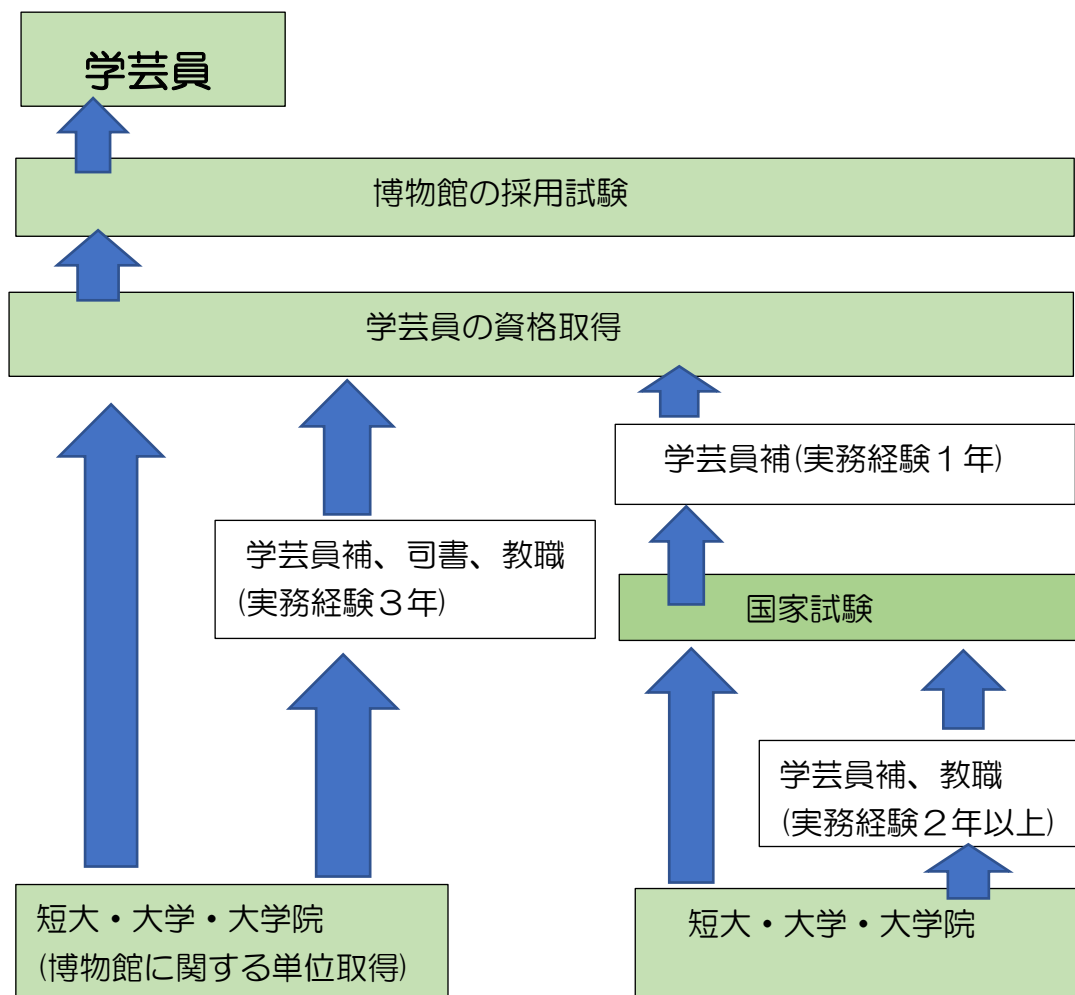
Q1 学芸員の具体的な仕事内容を教えてください

学芸員の仕事は大きくわけて5つあります。

- 【資料の収集】展示や調査する資料を集めます。他館や個人所蔵のものを借りる場合もあります。
- 【資料の整理・保存】収集してきた資料の図録や目録を作ったり、管理のための整理をします。また必要であれば、保存や修復・修理をしたりします。
- 【展示の準備】資料を利用者にわかりやすいように展示します。説明パネルや写真を作ったり、どんなコンセプトで資料を展示するかなどの企画を行います。
- 【資料の公開・展示】展示されている資料の解説を行います。展示に関する説明や学習会、講演なども行います。
- 【教育普及】子供から大人まで幅広い年齢層を対象とした講座を実施します。社会科見学や学芸員が外に出向いて行って行う出前講座などがあります。

Q2 学芸員の資格を取得する方法を教えてください

学芸員は国家資格で、大学において指定の科目を履修し単位を取得する方法で資格を取得する必要があります。



Q 学芸員の就職先はどんなところがありますか

学芸員の資格を取得したら、各博物館や自治体の採用試験を受けます。ただし、資格取得者の数に対して博物館の採用枠が大幅に少ないということが現実です。

博物館・科学館・美術館・文化振興財団など

一例として展覧会の運営、資料の作成、展覧会の入館受付や関連グッズの販売補佐などを担当します。

役所や教育委員会、研究所など

他の文化施設や企業、市民との連携、専門分野に関する調査研究や整理、教育普及活動などを担当します。

狭山市立博物館 学芸員の仕事の様子



企画のキャプションや展示構成、打ち合わせ



社会科見学の展示解説



企画展の展示準備



展示品の片付けと整理



学芸員実習生の指導



野外講座(化石探し隊)でのガイド



各講座での司会進行



収蔵庫の整理

Q 学芸員になるためにはどんな勉強をしていったらよいでしょうか

普段から学校で学ぶ各教科の学習をしっかりと行い基礎的な学力を身につけてください。またできるだけ多くの博物館や美術館、史跡、それらにかかわるイベントなどに足を運んで視野を広げておきましょう。

◆職場体験では、学芸員の仕事の見学や実際に学芸員の方々に質問をして仕事の内容を理解します。また学芸員の方々が、博物館の展示物の解説を中学生の皆さんにします。そこで学んだことを活かして生徒の皆さんは常設展の展示解説を体験や博物館常設展示の内容から小学生向けのクイズ問題を作成します。

[参考]

13歳のハローワーク
学研キッズネット

村上 龍 幻冬舎 2003 年
<https://kids.gakken.co.jp/shinro/shigoto/work034/>